

にわらげん

昭和38年2月 No. 82 発行 富山県入善町役場

編集責任者 総務課長 寺崎清作 電話 入善局 301 ~ 305 番

昭和32年5月22日 第3種郵便物認可 印刷所 池原印刷所 定価1部5円

予算編成と議会予定

2月6日 町長の予算査定完了
8日 正副議長委員長会議
16日 総務委員会委員協議会
19日 議員全員協議会 産業建設委員会委員協議会
21日 文教厚生委員会協議会
22日 第十四回町議会臨時会
27日 自治省との協議
3月5日 予算案の作成完了
10日 製本、議会提出の準備
11日 第十五回町議会定例会
12日 本会議第1日
13日 本会議第2日
町長施政方針発表演説
13日 産業建設委員会
14日 文教厚生委員会
15日 総務委員会
16~18日 休会
19~20日 本会議(一般質問)

〔豪雪写真〕①土木出張所のグ
レダー②町取組員の除雪③寺田
川の雪流し④劇場前の除雪⑤ダ
ンブー・バットの活躍⑥入善駅
のホーム⑦家屋浸水⑧屋根雪
なだれ⑨県道が川になった舟見

・・・雪のカーニバル・・・

校庭で制作にけんめいな栢山小学校のよい子たち



冬の食生活 脂肪をとるのは自然の要求です

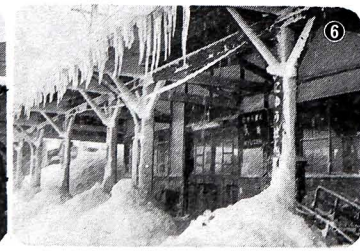
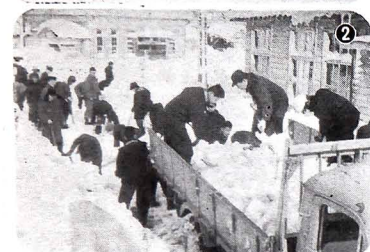
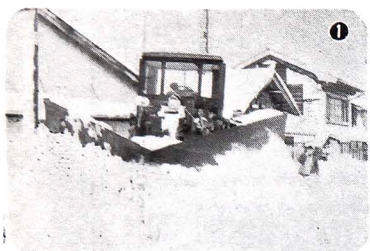
わたくし達のからだは、冬の寒波がおそってくるころには、それに馴れる態勢を作りあげています。

まず第一に考えられることは熱量消費の増加ということですが、冬は基礎代謝が亢進します。夏より約10%高く、寒い地域に住む人は基礎代謝の約5%多くの熱量をとることが必要になってきます。秋から冬にかけて、食欲が亢進するのも、冬に夏よりも甘い物や、脂肪性の料理が一般に好まれるのは熱量を多くするための自然の要求です。

脂肪は蛋白質や糖質にくらべて、そのカロリーは二倍以上もあり、熱効率も高く、ビタミンAや、Dの摂取、吸収にも重要な役割を果たす意味で、冬の栄養にとっては大切です。次にビタミンの一番大きな給源はなんといっても野菜ですが、冬期は新鮮な野菜は不足勝ちで貯蔵野菜にたよることになります。ビタミンAやビタミンCの摂り方は冬枯れの季節となると殊に困難な状態にあることも考慮しなければなりません。

ビタミンAもその摂取量の90%以上を野菜からカロチンの形でとっている現状では、緑黄色野菜の作り方の工夫が大切です。大根や白菜は、つけ物として長期間の貯蔵ではビタミンの含量はかなり低下します。

毎月10日事故をなくする日 子供たちを交通事故から守りましょう



議会報告



入善中学校新校舎

1月14日午後1時から役場会議室において、入善中学校の暖房施設の設置などについて、議

学校統廃合は——中学から

議会全員協議会に教委構想を発表

員全員協議会が開催されました
席上、広野教育長から合併以来町民の大きな関心事であった学校統廃合の構想大要が、はじめて発表されました。

中学校生徒
と学級推移

中学校の生徒数は、37年度の

二、二四九名が最高で、38年度からは年々約二〇〇名の減となり、49年には一、一八三名となります。(くらふ2参照)

学級数は(1学級定員50名)

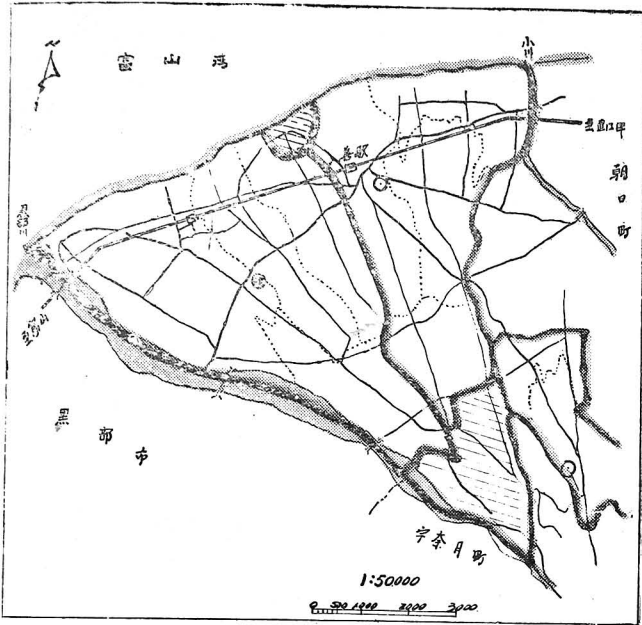
43年ごろから6学級制の学校もでてくるようになります。(くらふ1参照)

ご承知のとおり、中学校教育

教育委員 中学は2校または3校に

学校統廃合は、あくまで教育的な立場で考えるべきであり、
1 学校規模の適正化
2 教育効果の向上
3 学校経営の合理化
この3点が進められて教育内容の充実が期せられるのです。
また、学校の統合により住民の間に町一体の意識が深められ結果的には町行政に大きなプラスの面がでてくるのが考えられます。
さいわい、本町は、通学の距離

構想の基本的な考え方は、現在の学校施設をそのまま利用し



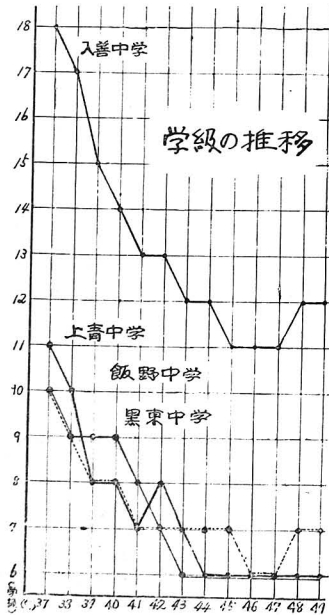
△3校案▽(上記略図参照)

本町の地形が三角形をなしておりますから、その頂点部に1校、底辺部に2校とします。

頂点部の1校は舟見中学校(入善、朝日、宇奈月の三町組合立)、底辺部の2校は入善中学校と飯野、上青、黒東の3校を統合した西入善中学校(仮称)となります。この場合、上原地区の一部と新屋地区の一部を自由通学区とします。

△2校案▽

舟見中学と入善中学の2校案



を進めるべきです。

小学校の統廃合

小学校の統合は、他町のよう
にここ2・3年のうちに複式学級が生ずることは考えられないから中学の統廃合により生まれる遊休施設を一部切りかえることとして、無理のない統合計画を進めるべきです。

この場合、入善小学校の敷地は公簿面積約六、二〇〇坪もあり

です。

は公簿面積約六、二〇〇坪もあり、(入善中学校敷地は約二、一〇〇坪)現在の入善小学校舎を統合中学校として、一部新屋の上部を除き全生徒を収容する考え方で

は、小学校教育と違って、教員に対する教員の配置が大切で、教員配置の小規模な中学校では、十分な教育効果をあげることは小学校に比して仲々困難であることも考えられます。

くらふ(1)の学級推移でわ

かりますように43年から6学級

編成校が3校もできて、1校に

9・10名ぐらいの教員数とな

り、教育効果の低下をまねくこ

とは論をまたなく、この時期ご

ろまでにぜひ中学校の統廃合の

ための準備体制を整えておく必

要性が生ずるわけです。



わたくしたちは、しょっちゅうまめという言葉に耳にします。まめというのは、体と心かうまくみ合って、豆粒のようにくるくる回転することをいうのだそうです。

ですから、まめでいられるのは、わたくしたちの一番の幸せといえます。

ところが、体と心とを一つにかみ合わせるすべを知らない不幸な子どもたちがいます。

それが先天的なものにしろ、後天的なものにしろ、この不幸な子どもたちにはなんの罪もないはずで、親の方でもこのような子どもがさずかるうとは、思ってもおりません。

お気の毒なのは、この子どもとこの子を持つ親の方です。

しかし、この子もやがて、大人になり、親が去った後、なんとか一人だちできるようにするために、放っておくわけにもいきません。

不幸な子どもたちの教育

カットと文 よねざわ・としこ

な生活指導と職業指導を続け、将来、家族のあしきまといにならず、まめで仕ふるようにならされたのが、特殊教育です。

つまり、心身の障害を持つひとたちを教育するのが、この特殊教育というわけです。

例えば、盲学校、ろう学校、肢体不自由児をあずかる学園、それと、最近、急にふえました特殊教育などです。

（注）心身の障害とは……

①知的欠かんによるもの（知的能の低い子ども）②身体的感覚の障害（肢体不自由児、弱視難聴児）③虚弱体質、疾病によるもの④情緒の不安定⑤環境の条件

ここに集まる生徒たちは、みんな共通の不幸を背負っていますので、心と心が通じ、人をさけるようにふさぎこんでいた生徒たちも、二、三か月ほどすれば、驚くほど元氣を取りもとして、表情もゆたかになります。

入級当時、口数も少なく、消極的だったというA君は、電気スタンドの台を仕上げ、今日はコードを通し、ソケットを取りつけています。女の生徒は、枕カバーを仕上げ、いま、縫ぐるみを縫っています。次の時間は、かんたんな珠算です。

特殊教育級に入ることをすすめられたというM君は、親の反対で、今普通学級の一角で、ぼんやり、うつむいたままノートに



らくがきをしています。

国語も数学も理科も英語も、M君とは、何の関係もなく、どんどん進んでいます。こうして六年間あるいは三年間、ムダに時が流れていきます。

特殊教育級にいるA君と、普通学級にいるM君のひらきは、そうとうです。A君は就職先もきまって、「仿いたら、髪の毛をばそうかなアー。」と、てれくさそうにいます。

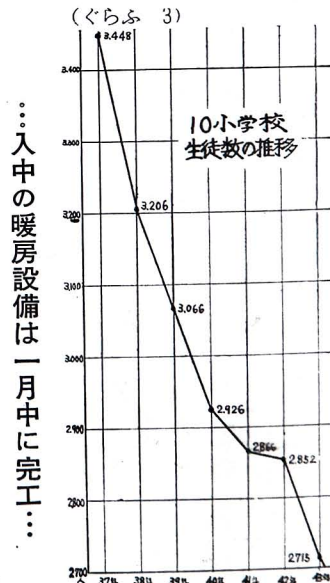
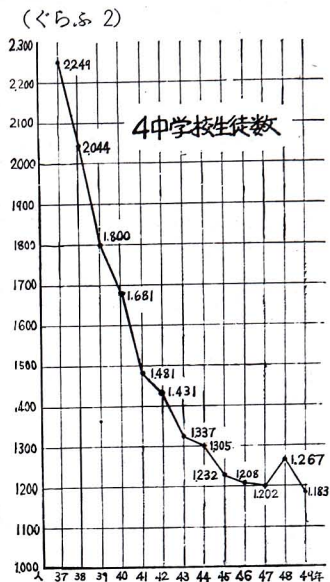
普通学級でぼんやり毎日を過ごしているM君は、まめで幼いてゆけるかどうか、気がかりです。

子供の将来を考えて、本町でも、三十六年度には入善中学校と飯野小学校、三十七年度には入善小学校に特殊教育級が置かれるようになりました。

入級している子供たちは、どんなに吹雪いた日でも、よろこんで登校しています。

わが子をもう一度よくご覧ください。そしてもう一度よくお考えください。

わが子の与えられた能力を十分活用し、まめで生きて行ける道を見つけてやりましょう！（入善中学校特殊教育級担任）



…入中の暖房設備は一月中に完工…

校舎が鉄筋コンクリート建築であるため児童の保健衛生管理上からスチム暖房が最適であります。1月20日ごろまでに二六五万円が富山汽船株式会社のゴト式重油ボイラーを施設されることになりました。

高波による災害復旧について
1月7・8日の高波被害総額は、約八七〇万円にのぼります。国の直轄事業、県単事業については2月早々県の関係部局へ関係議員とともに町から陳情することになりました。

漁港災害復旧について
災害復旧事業は、2年継続とし、37年度は39米と100米50を着工し、後者は9月頃までに完工したい予定です。今度の災害は再査定を受けるようにします。（今度の災害は15米ほどで海岸保全事業としてやりたい）

農業構造改善事業について
12月24日に指定の通知がありました。基盤整備は8割程度、球根集荷場は着工します。（1月7日起工式）

補助率は、国庫は50%、県補助は10%、町補助は3%です。

県漁業公社の設立について
沿岸漁業の停滞打開のため、中型かつお、まぐろ漁船（280トン）を建造して、遠洋漁業への転換促進をはかります。資本金は6千万円で、入善町は25万円出資します。

旧郡内統合中学校の規模

学校名	学級	生徒数	教員
泊中学校	二五	一、二〇三	四二
桜井中学	二六	一、二三一	四一
魚津西部	四六	二、四七六	六六

婦人意見発表会は、2月3日中央公民館ホールで催され、「明るい政治をねがって」について10校下の代表が発表。審査の結果、松田まつゑさん（上野）と川原きみ子さん（青木）が入賞。審査員は龍山錠信、竹内慎一郎、流剛、大田ひろ、谷雪枝、竹内栄治の諸氏

明るい政治をねがって

上原地区代表 松田まつゑ（上野）

わたくしは子どもの幸せを願う女の一人として、日ごろ思っていることの一端をのべてみたいと思います。

最近人づくりとか三才児教育ということばを、よく耳にしたリ読んだりしているけれども、二人の子どもを母にあづけて、朝は早くから夜おそくまで外に出て働かねばならない私にとりまして、この言葉は「なるほどそうだ。」とは、うなづけても

何かうらやましい手のとどかない夢のような気がして、かなしくなってしまう。子どもらの元氣なときはまだよいのですが、おたふく風邪の流行した昨年、わたくしの子どもも感染して四〇度の熱を出し、倍ほどにふくれた顔で喘ぎながら「母ちゃん今日も行かなければならないの」と、うめしそうに訴える言葉をきき、氷のうの下

のドロンとした目で見つめられわたくしの心はほんとうにうしろ髪をひかれる思いで一ぱいでした。いつも母からおいてきぼりをくわされている子ども、病

気になったもそばにいてももらえない子ども、そんな子どもの気持ちを痛いほど心を感じながらも「母ちゃんには仕事があるからね、バアちゃん云われることをよく聞いていい子になってねているですよ。早く帰って来るからね。」となだめながらわたくしは出かけました。

しかしわたくしの出た後、孫の看病と家事一切をまかされた母もどんなにかたいへんだらうと、すまなく思うのでございす。うなぎ上りに物価の高くなる昨今、田畠の一ヘクタールの収入では生活の安定はえられず生活の必要ゆえに、わたくしは

子どもを家において働きに出ます。働くことには、わたくしなりに仕事の責任のあることを思えば、私生活のために簡単に休むことはできません。

けれども青少年の犯罪を目にします。巧妙なその子の欲求不満の結果ではなからうか。

きつと淋しい家庭に育った子どもたちに違いはないと思うとき自分が反省させられ、「お金が大事か」「子どもが大切か」子どもの将来を考えると、脊髄の寒くなる思いがするのです。家庭にのこした幼ない子どもの身を按じながら、なおかつ生



…松田さん…

活のために家庭を出て働かねばならないという矛盾に苦しみながら生きている母親のなげきは決してわたくし一人ではないと思います。さきこ開かれましてた町の母と教師の会においてもまた昨年ひらかれた若妻グループ研修会のときにも、最初に話題になったなやみでした。

青少年育成のために、もつと市町村や県には予算をふやしていただきたいのです。健康な青少年育成の根本は、生活のためにさびて家庭に放りっぱなしにされている幼ない子どもたちを健全に育成することにあると信じます。そのために保育所がほしい。これが子どもを持つあ母さんたちの叫びだったのです

わたくしたちの校下にも小学校前に保育所がありますが、わたくしの家から子どもの足では一時間かかると、途中新国道も

できて交通のはげしい横断道路を二つも通らなければならず、朝夕送り迎えをしているありさまです。迎えにも行けない家庭の幼ない子どもが、夕方近く道くさをしてる姿を見ますとき昨年の秋、この道路で登校途中交通事故でなくなった女子中学生の死を思い出し、あのような泣いても泣ききれぬ心の痛手を二度とくり返さぬよう子どもの生命をまもるために、もつと保育所の増設をお願いしたいのです。わたくしたちの住む入善町では、小中学校の児童生徒が年

年減少し、このため今小中学校の統廃合が考えられていますので保育所の増設もなかなかとは思うのですが、吉田県知事さんの出身地、大島村ではすでにスクールバスで子どもたちの学校への送り迎えをしていらつしやいますとか、このような政治力をうらやましく思わずにはいられません。わたくしたちにもこのような施設ができ、たとえ距離は遠くとも施設のよい保育所へ子どもたちを安全に送ることができましたなら、母としてこれくらいうれしいことはなく、また働くわたくしたち婦人会の範囲も広がりが生活も安定するのではないでしようか。また年老いてもなお孫の子守をしなければならぬお母さんたちも一定の時間を生産面にレクリエーションにと楽しくすごしていただくことができるかと思うのです。

また、今開かれています通常国会で審議中の来年度予算は、わたくしの頭では想像もおよばない大きな数字が新聞に示されました。公共投資、社会保障、文教刷新、人づくり政策など、美しく複雑な内容を示すそれらの言葉は、今わたくしたちが心の底から望んでいる子どもたちの幸せがどこで結びつくのかよく判りませんが、少しのむだもはぶいて子どもに教育に全力を注いでくださいますよう願わずにはいられません。

試験地獄といはれる今日、高校へと進学なさいます受験生を

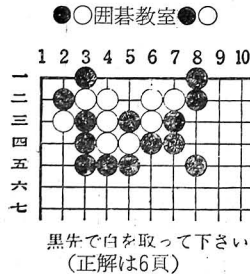
もつお母さんたちのなやみは、わたくしのように幼ない子を持つものには想像も出来ないほど深刻なことでありましよう。しかし人ごとではなくすぐ近い将来、わたくしの身にもふりかかってくる問題であります。

現在のように科学技術が進んでいる世の中では、どうしても高校卒業程度の知識は必要だと思ひますので、高校の全員入学には双手あげて賛成です。

また、大学卒業生が社会に出て良い職場で良い地位につけますのも、当然のことではあります。が、わたくし共のよう低所得者の子どもは、たとえ有名大学卒業の肩がきはなくとも、子どものもつそれだけのすぐれた気持をいかして社会に役立てていただきたいのです。子どもは、将来この世界を荷なつて立つ立派な国の宝の玉でございす。「みががざりせば光ある玉も、瓦に等しからまし」と昔の歌にもありますように、この国の宝の玉をみんなで一生懸命にみがいて、光かがやかせることこそ、わたくしたち大人の責任ではないでしようか。

今年は地方選挙の年といわれています。なにがなんでも当選せねばと、たぐさんの美辭麗句を口に叫びつづける候補者にまどはされず、だれが真に子どもたちの将来を真剣に考えていてくださるか、よく聞きよく考えて選挙にのぞみ、わたくしたち婦人の手で良い人を議場へと送り出したいと思ひます。

わたくしどものこうした願いをもつ女性の心が一つとなつてこれを政治に反映させ、少しづつでも実現してほしいと心から願つてやみません。



入善地区 神林、上田、上田次五右衛門、田中、田中久栄、11区、母子寮、扇谷、つた、16、17区、田中、信次、青島、平柳浅次郎、五十里、君島、五十里初郎、10区、米沢良吉、12区、竹内、吉、8、9区、泉、一、呉、紡社、宅区、渡辺守之、6、7区、野田みき、13区、池田、アヤ(新)、14、15区、三日市、みつ、(新)、上原地区、上野、1、2区、板川夏枝、上野、3、4区、目、沢、吉、邑町、大伴修六、吉原、1、2区、船平源蔵、吉原、3、4区、大野勇一、道市、下上、野、金沢よし、新、青木地区、青木、上村、荻田清松、町組、西坪、東坪、柴垣、木田信子(新、木根、橋本、吉、目川、杉沢、(新)、中村、高沢順作(新)、飯野地区、芦崎中部、井田清秀、園家、報徳、塚田善一郎、芦崎東部、浦田美津子、新、芦崎西部、清田善助、高島、蛇沢、広瀬義孝、東、宮坪、稲場甚作、東、豊愛、三ツ家、広田升平、神子沢、下飯野新、五十里、小沢、く、(新)、下飯野、高瀬、野坂親宗、笹原、五郎、八、竹島、吉、上飯野、板屋、上島松栄、国道筋、道吉、上飯野新、柏原政子(新)、小摺戸地区、東部、伊林啓、西部、井林とし、一、宿、若栗新、秋元正初、福島、福島新、袖沢、青木新、福沢、福島、福島新、高嶋マツエ(新)、新屋地区、1区、岡本周次、2区、早川重次、6区、永井勇松、下山、鍋島十太、墓ノ木、橋本春松(新)、浦山新、浦清友、一、桐山地区、小杉、小杉元義、荒又、青木良三、桐山、鍋谷辰良、桐山新、田ノ又、大田ひろ、横山地区、八幡、浜瀬又郎、春日、黒部みよ(新)、古黒部、山崎森枝(新)、藤原、池原一郎、横山、森島勇勝、舟見地区、1、2区、朝倉典章、3、4区、谷口清、5、6区、石谷裕治、7区、愛場十作、8区、入、ふ、(新)、野、中地、野、中、大割、昇、今江、富山雅恵、中沢、西、中、金、森、吉、三ツ家、上、今江、古畑、林虎、盛山茂

わたくしたちの民生委員・・・

社会福祉を進める人

民生児童委員の改選なる

社会福祉事業に大きな役割をもつものに民生委員があります。民生委員は、民間奉仕者として厚生大臣の委嘱を受け、常に担当地域の住民の生活状態を観察し、低所得者に対する適切な保護指導および世帯更生に積極的に活動しております。

また児童委員としても保護児童の指導に努め、住民の福祉にはなくてはならない存在となっております。

昭和三十七年十二月一日全国一斉に民生委員の改選が行なわれました。

本町においては定員六五名の内、再任四八名、新任一七名であります。

改選された民生委員は上記の方々です。

退職委員に記念品おくる

一月十一日民生児童委員功勞者として、このほど退職された左記の十七名の方に、町長より感謝状と記念品が贈られました。

南保栄太郎 野坂 豊
藤井 友吉 塚田与次兵衛
沢谷 くさ 松島 ヌイ
柳平まつい 橋本由次郎
福島ヨシエ 高松 薫
木田 武雄 高邑 さだ
杉沢 吉郎 上野 しん

民生委員もべんきよう

二月七日、八日の二日間にわ

お母さん寒いノ

インフルエンザには早く医者え

町 長 米沢 甚吾
議会議長 福沢 忠命

豪雪見舞い
連日の雪わり感謝します

豪雪見舞い

「お母さん寒い。」と、帰って来た子どもが、コタツにしがみついているが、ふるえが止まらない。ビクビクして熱を計ってみると、39度もある。こうしたご経験はありませんか。寒けや、寒さをともなつたふるえが急に起こり、38度から40度の熱がでたら、一応インフルエンザと疑ってみる事です。

熱は一たん下がることもありますが、ほとんどは発病のまま2、3日から一週間くらい続くようです。

徴候としては、頭痛がする、背中や足の筋肉がガクガクする、鼻水がでる。ノドが痛くなるなどで、次に食欲はなくなる、何もたべなくても吐き気がし、セキがでたりします。気管支をやられるので、肺炎になりやすく、肺炎を併発すると、この症状が一段と悪化して呼吸困難となり、タンが増えて血タンの出ることもあります。

インフルエンザだからと軽くみないで、早く医者に診てもらうことが大切です。

豪雪の見舞いに木炭をおくる・・・

このほど2月8日町から数十年ぶりの豪雪見舞いに87世帯の気の毒な方へと、木炭1俵づつですが、おくられました。

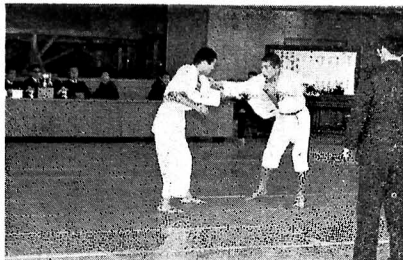


新着図書案内

母が子にける橋 中川秀人
人間尊重五十年 出光佐三
日本人の知恵 人物往来社
在米四十年 浅野七之助
一筆対面 清水 崑
水の変態 宮城道雄
長生きの国を行く 杉靖三郎
世界の富の支配者 岡倉古志郎
民族解放の星 貝塚茂樹
アイディアに生きる 大宅壮一
勇気ある人々 下島 連
浩宮さま 佐藤 久
旅の思い出 戸塚文子
日本史の展開と外来文化 蔵並省自
クラーク先生とその弟子たち 大島正健
望 郷 高城重吉
まっている国東南ア見聞記 鈴木 正

野獣と土人と花と 浅井さき
中国のなかのソ連 蔣 介 石
老人は変わる 小林文成
愛国心の目覚め 田中 卓
婦人学級 松村康平
家族のなかの人間 磯野富士子
おかあさんの知恵 岸 武雄
私の健康 週刊朝日編集部
高血圧は病気ではない 大矢 漱
小説の味わい方 白井吉見
日本の文学都市 野田宇太郎
眠れる美女 川端康成
素晴らしき結婚 源氏鶏太
恋の泉 中村真一郎
薄明のひと 円地文子
禁 断 石原慎太郎
可愛いめんどりが歌った 藤原審爾
夜と風と 佐多稲子
潮みちるまで 大原富枝

新着図書案内



寒中に全力全精の熱戦

2月3日、柔道協会主催はじめての町民柔道大会は、入高体育館において開催されました。熱戦の成績は、次のとおり、

(団体戦) 優勝 飯野中学校
次勝 入善中学校

(個人戦)

(中学) 重量 滝本輝政(飯中)
中量 竹島誠一(ク)
軽量 上田新治(ク)

(一般、高校の部)

有段者 島 浩史(入高)
無段者 板谷英夫(ク)

あ と が き

▼昔からたびたびの大雪を知っているわたくし達は、こんどの豪雪で孤立？しても案外元氣であったようだが、昔の人は、長い経験から自然の怒りをそらす知恵を身につけていた。たとえば雁木(がんぎ)づくりがそれで、共存の道である▼近年生活様式や都市の姿も、おしなべて東京化

記事訂正 前号81号の5頁中段東京黒東会(会長杉田啓三・柵山)は誤りで、会長坂東啓三・田又)に訂正します。

満70才になられた方または15才未満の子を養育しておられる母子世帯で公務扶助料、遺族年金、恩給または扶助料を受けているため国民年金を受けられなかった方も、法律の改正により、次に該当する方は昨年10月にさかのぼって国民年金を受けることができることになりました。該当の方は、早急に町年金係へ届出てください。

● 戦争公務による死亡の場合 は年金額7万円以下の方

2 一般の年金の場合は2万4千円以下の方

この届をされるときは、必ず新しい扶助料証書または年金証書(昭和37年10月1日改訂のもの)、印かん、戸籍抄本、住民票謄本が必要で、

なおもしこの届をせず死亡された場合はその間の年金は受けられませんがご注意ください

扶助料や恩給をもらっている方も年金がもらえます

● 詰書の正解 ●

黒4の一 白5の二 黒1の一 (黒1の一とへこむのが手。これを2の四と一目とすると、白5の一 黒7の一 白2の一に二目とって白生きとなる。)

1 戦争公務による死亡の場合 は年金額7万円以下の方

2 一般の年金の場合は2万4千円以下の方

必ず12月分までを納めて、年金を受ける権利を確保しておきましょう。

保険料の納付は済みましたか

国民年金保険料(手帳に印紙をはります) 12月分までを納める期限は、1月となっておりますが、未納の方はいますぐ農協

または役場へ納めてください。この保険料が納まっていなければ、事故が発生しても年金を受けとることはできません。

また役場窓口まで提出してください。

地区民の要望もあり横山地区町政広聴会は、1月21日午前10時農協ホールで開催。町からは町長以下各課長と福沢議長、佐藤、谷議員が出席。議会事務局長の司会で、米沢町長の挨拶からはじめられ、37年度は終りに近いので38年度の抱負を述べて了解を求めました。○小中学校統廃合は新聞発表のとおりに。教育長 議員全員協議会では教委構想を述べ、心構いを云ったので決定ではない。

町長水利計 画は土地改良区と相談して計画する。県道については県に強く働きかける用地収用に地元協力を得たい。○季節保育所保育を確保せよ。民生 努力する。婦人会の協力により効果的に運営したい。



明日への保障をきづく

国民年金に加入しましょう

ご承知のように国民年金法は年を追って改善され、近い将来に国民年金のみで生活できる年金額に増額しようと、協議が進められています。

また、会社やその他の事業所に勤めていて加入しておられる厚生年金やその他の年金も、増額されるようです。

今後は国民のすべてが、必ずいつかの年金制度に加入して老後は勿論障害、母子、遺児、寡婦などの事故が発生したとき、その生活が保障されるといふ社会に発展してゆくことでしょう。

広報にゆうぜん

(6)

国民年金